

青少年赤十字 SHIMANE



第 108 号 平成 30 年 3 月 31 日

島根県青少年赤十字指導者協議会

日本赤十字社島根県支部

リーダーシップ・トレーニング・センターを開催しました！

トレセンは、青少年赤十字の教育プログラムのひとつで、集団生活をともなう学習活動の場。学校や地域社会のリーダーを養成することを目的に開催する研修です。自分の意見を積極的に発言したり、友達を思いやる行動が見られたりと、各々がリーダーシップを発揮している場面が数多く見られました！

【県トレセン】
8月2日(水)
～4日(金)

参加者は小学校 19 名、中学校 37 名、高校 23 名の合計 79 名。2 泊 3 日を共に過ごす中で、個々のリーダーシップを育むとともに友情も深まりました。



技術研修(点訳、車椅子バスケット体験)の様子。この他にも音訳や手話、みんなで楽しめるレクリエーションの方法、高齢者支援の方法を学ぶコースがありました。



フィールドワークではホームルームの仲間と協力して様々な関所を突破します。

【益田トレセン】
2月17日(土)

参加者は小学校 10 名、中学校 4 名の合計 14 名。宿泊は伴わない「1 日トレセン」ですが、救急法での大切さを学んだり、非常食の炊き出しをして災害時に自分たちにできることを考えたり、充実した 1 日となりました。



救急法講習。初めて触るAEDに少しへきだき！？

ハイゼックス袋を使った非常食づくり。
おいしいごはんが炊けました！

フィールドワーク「暗夜行路」ではみんな大はしゃぎ！

★トレセン 参加者の感想★



- *「救える命を救えるように」、今日学習したことをもしもの時に生かしたいです。
- *赤十字の色々な活動について知れたりし、友達もできたのでよかったです。
- *指示される前に自分から進んで行動していきたいと思いました。
- *リーダーに必要なのは信頼と思いやりだと思ったので、生徒会活動で活かしていきます。
- *これからは人に頼ってばかりではなく、頼られる人になりたいと思いました。

今年度も子どもたちを対象に「防災スクール」を行いました！

赤十字では、子どもたちが自然災害の正しい知識を持ち、自ら考え、判断し、危険から身を守る行動ができるよう 「防災スクール」を行っています。内容は、災害についての講義、炊き出し訓練、災害時に役立つ技術、気象庁作成のワークショップなど、ご相談に応じて展開しています。今年度開催した防災スクールの様子をご紹介します。



災害・防災についての講話（江津市）



気象庁作成 津波ワークショップ（江津市）



毛布を使った搬送（出雲市）



簡易トイレづくり（出雲市）



避難所で役立つ技術
リラクゼーション（松江市）



ハイゼックス袋を用いた非常食作り（松江市）

Pick up!

安来市立第三中学校

防災教育に力を入れている安来市立第三中学校。今年は3年生を対象に、避難所運営の中でも「炊き出し」に力を入れて取り組みました。実際の災害を想定し、炊き出しをするには何が必要か、どんな配慮が必要か等を綿生徒一人ひとりが考えて役割分担を決め、全校生徒分の非常食をつくって配膳しました。



大釜で260食分のごはんを炊きました、



配膳の様子。ラップを敷けば紙皿も再利用できます。



タオルケットを使ったガウンのできあがり！

島根県青少年赤十字指導者講習会を開催しました！

2月13日（火）に行われた指導者講習会は、学校の先生方に、学校現場において青少年赤十字をどのように活用するのかを知りいただくことを目的に実施しています。今年度は、27年度から3か年計画で取り組んできたテーマ「防災学習」のまとめの年度として開催し、下記プログラムを実施しました。

*報 告：「青少年赤十字指導者研究会」 安来市教育委員会 田中 修 先生

*事例発表：「安来三中が取り組む防災学習」 安来市立第三中学校 今岡 一郎 先生

*事例発表：「すべて私たちが主催して災害時対応の啓発を地域へ！」 島根県立平田高等学校JRC部員

*防災コミュニケーションワークショップ（BCW）：「ドローイング・チャレンジ」「救援物資を運べ！」

防災コミュニケーションワークショップ（BCW）は、災害時に大切なコミュニケーション力を身につけるためのワーク。青少年赤十字防災教育プログラム「まもるいのち ひろめるぼうさい」に掲載されています。

指導案やワークシートのデータ、災害や防災について学べる分かりやすい動画もついているのですぐに使って便利です！

※すでに各学校あてに配布しています。詳細はお問い合わせください。



★『ドローイング・チャレンジ』



ペットボトルと水性マーカーで作った大きなペンをチーム全員（4～5名）の人差し指だけで支え、全員で息を合わせて模造紙に図形や絵を描くアクティビティ。どうやったら時間内にうまく描き終えることができるのか話し合う時間が大切です。

今回の指導者講習会での先生方へのお題は「いぬ」。各グループ個性的ないぬができあがっていました！

★『救援物資を運べ！』



チーム（4～6名）で協力し、備蓄倉庫から避難所まで、限られた道具を使ってより多くの救援物資を運ぶアクティビティ。救援物資に見立てるのは、ビー玉、キャップ、クリップ、輪ゴムなど。持ち運ぶ道具は割りばし、つまようじ、マグネット等です。運ぶ道具をどのように使うか話し合う時間が大切です。先生方も大盛り上がりでした！



資材の貸出を行っています！

Pick up!

島根県立平田高等学校JRC部



事例発表をする平田高校JRC部員

今回指導者講習会で事例発表をして下さった平田高校JRC部のみなさんは、災害時に高校生として何ができるのかを考え、地域を巻き込んだ防災啓発活動や起震車体験の主催を行いました。その活動が評価され、全国規模の大会で下記の成績をおさめられました！

★全国ボランティアアワード 各県代表 101校中 7位

★全国ボランティアスピリット

ボランティア・スピリット・コミュニティ賞 受賞



第8回 赤十字救急法競技大会にJRC部員が出場しました！



心肺蘇生の部



三角巾包帯法の部

11月19日（日）の競技大会に県内3つの高校JRC部から選手として出場し、優秀な成績をおさめられました。大切な命を守るために、真剣な表情で取り組む姿がとても頼もしかったです。

【選手出場】

平田高等学校、三刀屋高等学校、益田翔陽高等学校

【ボランティア協力】松徳学院高等学校

島根県内JRC加盟校の活動を紹介します！

日赤島根県支部では、青少年赤十字活動の充実振興を図るために、申請のあった加盟校を対象に助成金制度を設けています。今年度は47か所の学校に助成金を交付し、各学校において地域のための活動やいのちの大切さを学ぶための活動などが展開されました。その一部をご紹介します。



地域の方と一緒にごみ拾い



赤ちゃん交流会



花の苗植え



特別養護老人施設の訪問



救急法講習



公衆トイレの清掃

平成29年度 青少年赤十字加盟校

幼稚園・保育園	10園
小学校	87校
中学校	50校
高校	41校
特別支援学校	6校
合計	194校
(新規加盟校)	14校

平成30年度の行事案内

- JRC指導者協議会総会：平成30年5月30日(水) [サンラポーむらくも]
- 県トレセン：平成30年7月27日(金)～29日(日) [サンレイク(出雲市)]
- 赤十字救急法競技大会：平成30年9月30日(日) [県立武道館(松江市)]
- 隠岐トレセン：平成31年1月19日(日) [隠岐の島町立西郷中学校]
- 益田トレセン：平成31年2月2日(土) [益田市立吉田小学校]
- JRC指導者講習会：平成31年2月13日(水) [松江市内]



日本赤十字社 島根県支部 青少年赤十字事務局

〒690-0873 松江市内中原町40 TEL:0852-21-4237